

私の同期生の37・5%は戦中生まれ。残りは戦後第1号生まれになるのでしょうか。全員が終戦の玉音放送を母の胎内で聞いており、人数も極めて少なく、22～24年生まれの「団塊の世代」とは一線を画している。

競争も激しくなかつたせいか、全国的にノホホンとした世代で、私の中学校卒業時の校報には「問題を起こすことなく、とても大人しい生徒たちだつた」と載つている。

そのせいか下級生にナメられていたらしく、高校時代には下級生に呼び出されて大勢に取り囲まれて殴られた奴が

3年前に「高校卒業50周年記念同期会」、2年前は小中学校の「古稀記念同期会」、そして今年は「6回目の干支を迎えた同期会」と、毎年のように嫌でも自分の年齢を忘れさせてくれないイベントが続いた。

古稀を超えて現役
赤沼侃

秋田武藏令

発行 秋田武蔵会
発行責任者
佐々木 勲

いろいろいう話があつた。たつた一人を大勢でないといレナイとは、なんと意氣地のない卑怯者たち。「こんな汚い奴らが後輩とは日本も終わるやうだ」と情けない思いをしたものだつた。

自分をこれまで育ててくれたのは両親や家族だけではな
い、近所の方々、学校の恩師、や先輩、級友。そう考えて
町内会長や同窓会の年次代表を引き受けるなどして、恩返しのつもりでいたが、最近では、秋田市や県のためにできることはないかとも考えるようになってきた。

昨夏、NHKテレビを観ていてヒントを得たことがあつた。今は、その実現のために燃えている。

今年も「秋田武蔵会」の開催の時期を迎えました。毎年多くの方にお出でいただき

全国から集まつた人々との出会い。江古田で過ごした四年間は、私の人生に大きな影響を与えてくれた。



江古田スケツチ

岡碁将棋部で岡碁をやつて
いた私は、四年生最後の連盟戦
の前日に先輩の松下さんと
「梅きら」で飲んだ。(松下
先輩は、私が一年で入部した
時四年生で、私が四年生にな
つてもまだ四年生だった)
岡碁のキャラテンをしてい
た私に、最後にいろいろアド
バイスをしてくれたように思

出合つた人々の思い出を当時の江古田の風景と共に歌つたもので、酔うと皆で大声をはりあげて歌つた記憶がある。昨年、インターネットで偶然見つけ、懐かしく思い調べてみると、このコードはリースから三ヶ月で廃盤となり、幻の名盤と言っていたのだが、二〇一二年にCDとして復刻されたらしい。早速入手し聞いてみると、当時の思い出が次々によみがえり胸が熱くなつた。

う。あまり得意ではなかつた日本酒を、かなり飲ませられた記憶がある。

翌日目覚めたら既に昼を過ぎていた。こうして最後の連盟戦は悲しい結果に終わつた。

この思い出の「梅きち」も二〇一〇年六月に店を閉めた。閉店の際、仲間から最後に飲み会を開くと案内があつたが仕事で行けなかつた。何としても行けばよかつたと後悔している。

映画が好きでよく通った江古田文化は、一九八四年私が卒業して五年後閉館していた。大きくなりになつた江古田駅周辺から、「江古田スケッチ」で歌われている風景がどんどん無くなつて行く。しかし卒業生の方々の心の中には、懐かしい江古田の街が、仲間たちの思い出と共に生きているに違いないと思う。次回の同窓会では、みんなで「江古田スケッチ」を歌いたいと強く願つてゐる今日この頃である。(秋田市・27E)